

議員定数等検討特別委員会全体会における 自由討議で出された主な意見

1 大町市議会の常任委員会のあり方について

- ・議論を尽くすためには1つの委員会につき6名～7名で、2つの委員会で良い。
- ・1委員会につき8名は必要なのではないか。現状のまま2つの委員会が良い。
- ・委員会は1つで良い。新人議員も最初から全て理解できるようになるし、多様な意見を集められる。
- ・1委員会につき7～8名で、2つの委員会が良い。複数所属はしない方が良い。
- ・1委員会につき7名は必要。本来なら委員会は3つ欲しい。
- ・審査や委員会代表質問等、質:役割の向上が求められる。
- ・委員数は7名とし、2つの委員会が良い。委員長も議決権を得るようにするべき。
- ・議長は、委員会オブザーバーとする(定数によっては、監査委員も)。
- ・市の施策・事業に関する特別委員会は、設けず常任委員会で調査等すべき。

2 大町市議会の議員定数について

【減らすべき】

- ・委員会は1つのみが良い。議員は10名で良い。
- ・14～15人が良い。
15人の場合：議長を除く14人で2つの委員会。各委員7名。
14人の場合：2つの委員会。各委員7名。
- ・議員の欠員が出ている。選挙にすべく議員定数を減らすべき。
- ・1委員会につき7～8名で2つの委員会が良い。したがって定数14～16名となる。

【現状維持】

- ・大町市と同等の人口規模の自治体の議員数は平均16名である。
- ・一旦減らすとなかなか元に戻すことができない。
- ・住民の聞くため、簡単に定数を削減することは避けるべき。
- ・大町は面積も広く、削減すると一人当たりの負担が重くなる。
- ・女性や若手の議員が増えることが必要である。
- ・類似団体を見る中で企業会計の審査に差があることを知った。
- ・自治体病院がある中で、単に人口減少で、減らすことが適当であるとは思わない。
- ・本当は増やしたいが、市の現状を思えば現数で仕方ない。

【増やすべき】

- ・全国の2～3万人の市では18人くらいが適正とされている。大町はすでに16人で少ない。

3 大町市議会の議員報酬について

<議員報酬について>

- ・現状維持すべき。
- ・年額500～600万円とし、定数6減とする。
- ・増やすべき。生活が保障される額を。
- ・増やすべきだが、議員が何を行っているか、市民に伝える努力が必要。
- ・子育てできる報酬を補償すべき。
- ・今後のなり手不足に繋がらないためにも増やすことが必要。
- ・議会・委員会活動の露出が少ないままなら報酬は上げられない。しかし、議会への関心を高めるためにも、報酬をあげるということも検討すべき。

<政務活動費について>

- ・0円にすべき。
- ・現状でも良いが増やすなら何に使ったのかを市民に伝える手段を考えるべき。
- ・上げるべき。しかし、上げるなら効果を開示すべき。
- ・最低月額5,000円（年6万円）。
- ・月3～4万円（近似自治体平均）が良い。